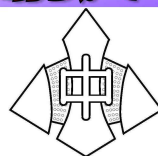


手をたずさえて

“KOHARADA WAY” 自分に打ちかて

- 心身ともに健康で明朗な生徒
- 自主的に学習する生徒
- 責任を重んじ協調性のある生徒



令和2年4月7日（火）発行
【発行責任者】郡山市立小原田中学校長 熊坂 洋

新2・3年生 『お帰りなさい。』 令和2年度のスタートです！

まずは、きみたちに一言。

「お帰りなさい。」そして、進級おめでとうございます。

小原田中学校は、きみたちの帰りを心から待っていました。

「お帰りなさい」…普段何気なく使っている、何の変哲もない言葉にも思える、この「お帰りなさい」。しかし、この言葉をよく噛みしめてみると、ホームグラウンドに戻ってきた時の、心に届く、心を癒やしてくれる、とても温かい言葉であることがわかります。そして、きみたちのホームグラウンドである、この《小原田中学校》も、温かい言葉、温かい気持ちや心とともに、笑顔に満ち溢れた場所であるべきです。そんな温かい場所を作り出すには、きみたち生徒一人一人、そして我々教職員の力にかかっています。今の困難な状況乗り越えていくためには、とても大切なことだと思います。

午後の入学式においては、114名の新入生を迎え入れます。きみたちも経験して分かると思いますが、新入生は不安と期待で胸がいっぱいだと思います。今の状況からすると、どちらかというと不安の方が大きいかもしれません。今日の入学式には参加できませんが、きみたちには、その新入生たちを温かく迎えてほしいと思います。そして、様々な面でよき見本、よき先輩であってほしいと思います。

“見えざる敵”との戦いは長期戦となり、しばらくは我慢や辛抱が必要となります。だからこそ、新型コロナウイルスに対し、「正しく理解し、正しく恐れ、冷静に対処していくこと」を大切にし、生徒のきみたち一人一人と教職員とがともに手をたずさえながら、この困難な状況に打ちかち、自他共に誇れる小原田中学校を築き上げましょう。



みんなを迎えてくれた満開の桜



きみたちのホームグラウンド“小原田中”

～ 第一学期始業式 校長式辞 ～

式辞の後、学校としての新型コロナウイルス感染対策として、次の5つの点について話をしました。（詳しくは学年や学級で指導を行いました。）

- 1 起床時間、就寝時間を考え、規則正しい生活を取り戻すこと
- 2 新型コロナウイルス感染対策に一人一人が責任を持って取り組むこと
 - ① 毎朝の検温
 - ② 手洗い・咳エチケットの徹底
 - ③ 3つの密（密閉、密集、密接）が重なる場を避けること
 - ④ 放課後、休日等は不要不急の外出は避けること
（登校日でも、下校の際には寄り道をせず帰宅すること）
- 3 部活動は4月7日から再開するが、顧問の指示に従って、徐々に身体や気持ちを慣らしていくこと
- 4 不安や悩み等があれば、遠慮なく教員やSC等に相談すること
- 5 保護者の方に伝えてほしいこととして、今後も情報提供を続けていくので、メールやホームページを注視してほしいということ



笑顔が戻った教室

命の尊さを心に刻む…

令和2年度入学式 校長式辞より

新入生の皆さんに想像してほしいことがあります。それは、きみたちの生まれた日のことです。生まれた日のことですから、きみたちに記憶があるはずがありません。でも、その日のことを想像することはできるはずです。嬉しそうにしているお父さん、お母さんの姿があります。名前をどうしようか悩むご両親の顔が浮かびます。「ご苦労さん」とお父さんがお母さんに言っています。きみは大きな声で泣いています。看護師さんが「元気な男の子ですよ」「かわいい女の子ですよ」とやさしく言っています。そこには、温かい光景が広がっています。

君たちは、きっと自分の生まれた頃の写真や映像を観たことがあるはずです。白い産着を着たきみたちの瞳は、きらきら輝いているはずです。そこにきみたちの輝ける命の誕生があるのです。ご両親をはじめ、周囲の祝福がたくさんあふれています。私は、まず君たちがこの世に生を受け、今ここに元気であることに、素直に心からおめでとうと言いたいと思います。命への祝福と感謝は、すべての人に共通する想いです。

例えば9年前のあの東日本大震災では「生きたくても生きるこのでしなかつた命」がたくさんありました。そして、今、放射能と同じ新型コロナウイルスという“見えざる敵”との戦いが続いています。だからこそ、互いが、互いの命の尊さを心に刻むことを、今日の入学式という新たな生活の始まりに確認し合うことは、とても意味のあることだと思います。誕生から12年間、きみたちはそのまぶたを大きく見開き、いろいろなものを見てきました。多くの喜怒哀楽を経験してきたと思います。自分の成長とともに持つ責任とは、新たな自分を作り上げていくことです。生まれた日のことを、互いにその日が大切であったともう一度思い出し、命の大切さを深く重く感じ合ひましょう。

今日から君たちの新たな人生が始まります。真新しい白いページを共に開きましょう。私たち教職員は、きみたちの大きな希望の手助けになりたいと考えています。そして、みんなの力を合わせて、この困難な状況を乗り越えていきましょう。



規模を縮小して行われた入学式

保護者の皆様へ / “手をたずさえて” 保護者の皆様との信頼関係を築くために…

4月1日に着任しました校長の熊坂 洋です。どうぞよろしくお願いいたします。4月6日、新2・3年生は、3月2日から35日ぶりの登校となりました。生徒達の元気な声や笑顔がある「学校本来の姿」だと痛感しました。午後の入学式では、114名の新入生を迎え、全校生徒329名及び33名の教職員からなる令和2年度の学校生活がスタートしました。

7都府県に非常事態宣言が出されようとしているなど、新型コロナウイルスの感染が拡大する中、先がまだ見えない不安な日々が続きます。このような時だからこそ、生徒相互、生徒と教職員、教職員同士、更には学校と家庭、学校と地域、学校と関係機関等が手をたずさえながら教育活動を展開していくことが何よりも大切だと考えております。特に保護者の皆様との信頼関係や連携なくして学校は機能しません。そんな想いを具現化するとともに、ご家庭と学校の架け橋のひとつになればと考え、学校だより『手をたずさえて』を発行し、学校や生徒の様子、私の想いなどをお伝えしてまいります。

ホームページにも掲載してまいります。また、昨日、学校の今後の方針等を示した「学校再開に向けた新型コロナウイルス感染対策について」という通知を配付いたしました。ご確認をお願いいたします。そして、今後の本校教育活動へのご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

